

## 宿泊研修旅行 報告

### 参加者

藤田 泉 (江戸川高・校長)  
 萩原 聡 (西高・校長)  
 長津 美明 (都数研参与)  
 竹村 精治 (東京理科大学)  
 田神 仁 (法政大学)  
 武山洋二郎 (教職員研修センター)  
 矢嶋 邦男 (和算研究所)  
 宇佐美俊哉 (保谷高)  
 飯塚 京子 (武蔵丘高)  
 高寺 寛樹 (教育相談センター)  
 片江 康裕 (科学技術高)  
 藤田 祥一 (明治大学大学院)  
 西川 真吾 (足立工業高)  
 並木 康訓 (九段中等)  
 山下 雅也 (晴海総合高)

他2名

今年も恒例の宿泊研修旅行を行った。今回は並木康訓氏(九段中等)の企画運営のもと、17名が参加した。以下概要を記す。

### 1. 主な行程

令和2年2月1日(土)から1泊2日で実施した。JR・東京駅に8時30分に集合し、特急踊り子号105号にて湯河原駅に向かった。



到着後、幕山公園にバスで向かい、湯河原梅林を散策した。梅の花は一分咲きで、見ごろには少々早かったが、上り坂をゆっくり上がりながら様々な種類の梅の木々を観察することができた。

昼食を各自で取り、その後、送迎バスで本日の宿泊先「ニューウェルシティ湯河原」に向かった。千歳川沿いにあるホテルで、道路から入口にかかる橋には神奈川県と静岡県の境界線が引いてあり、いきなり物珍しさを目の当たりにすることになった。

ホテルにチェックイン後、各部屋で少々休憩し、温泉に浸かり、各自のんびり過ごして研究協議会に備えた。

研究協議①では、都数研藤田泉会長のあいさつで始まり、3人の先生方にご講演をいただいた。

夕食会は長津先生の挨拶・乾杯の発声により開始、カニ料理、刺身五種盛りなど和風コース料理を頂き、質・量ともに堪能できた。

夕食会の後、大部屋にて夜の懇親会を行った。様々な先生方と徹底的に意見交換することができ、大変勉強になった。これは研修旅行の伝統であると言える。遅い時間まで非常に盛り上がり、親睦を深めることができた。

2日目は朝食がバイキング形式であり、各自自由にお皿にとり、ぜいたくに頂いた。朝食後、研究協議②を行った。先生方が意見を交わし、熱のこもった協議会になった。チェックアウトギリギリまで続き、1時間半ほどの時間であったが、有意義な時間を過ごせた。

ホテルをチェックアウト後、全員、西村京太郎記念館に向かった。ミステリー作家らしい趣向で、玄関では死体の人形が出迎えてくれた。2階の見学室は、Nゲージの電車が走る大きなミニチュアのジオラマがあり、みんなで協力体制の元、5人の遺体、4か所の事故現場探しに釘付けになった。1階「茶房にしまら」でドリンクを飲んだ後、16時15分湯河原駅集合まで、自由時間を楽しんだ。

帰りの電車も談話の花が咲き、最後の最後まで勉強になる旅行であった。



文責：山下雅也 (晴海総合高)